

草津中通信

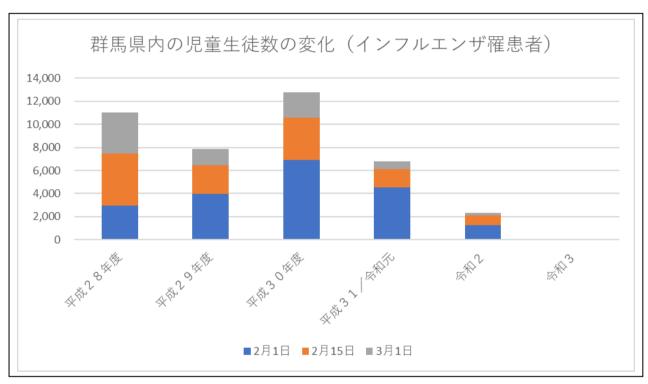
令和3年 3月 1日(月) 草津町立草津中学校 No.23

教育目標 心豊かで、高い知性をもつ、健康な生徒の育成

公立高校後期選抜(3/9,10)

後期選抜を受ける生徒は前期選抜で合格した場合よりも、少し長く緊張が続きます。でも、見方を変えれば、前期 選抜で合格をして緊張の糸が少し緩んだ場合よりも、ぎりぎりまで緊張していたほうが高校入学後のスタートダッシュ には、かえって有利になると言われています。 がんばれ!! 後期選抜チャレンジ組

新型コロナウイルス対策は他の感染症対策としても有効



このグラフは毎年の2月1日、2月15日、3月1日の3日間の県内学校のインフルエンザの罹患者数の データを抜き出して様子をまとめたものです。インフルエンザがもっとも流行する1ヶ月間の様子を、平成28 年から比べてあります。令和3年は入力を忘れたわけでなく、罹患者数が極端に少なくてグラフになりません。 この結果から、うがい手洗いやマスク着用、三密回避が他の感染症対策としても有効なことがわかります。

心肺蘇生法 ~もしものとき、あなたは行動できますか 保健体育の授業から~

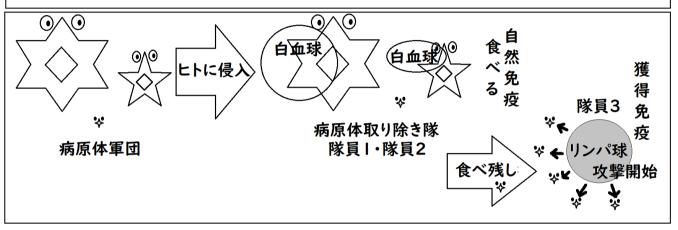




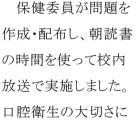
ひとりではなく、周りの人と分担しながら作業すること が人命救助に有効なことを体験した生徒たちです 放っておけば命を落としてしまう状態の 人が目の前にいるとき、迷わず心肺蘇生を始めれば、それをできるだけ早い時期で判断すれば、命を助けられる可能性が一層高まるのです。そのためには、たとえ一回でも蘇生法を経験しておくことで、いざというときの行動が起こせます。ないことを祈りつつ、「もし、遭遇したら」に備えての授業です。消防署の皆様お世話になりました。 免疫とは病原体を見つけ取り除く働きのことで、これによって私たちは守られています。 そして、「病原体除去隊員」は白血球を基地に寝る間もなく体内をパトロールしています。

- ① 体内に病原体が侵入→隊員1が病原体を食べてしまう(自然免疫;隊員の80%がこれ)
- ② 隊員1が食べ残した病原体があれば、その病原体を食べ始める隊員2 (自然免疫)
- ③ 隊員1,2でも取り除けない小さい病原体がある(たとえばウイルスなど)と、白血球のなかのリンパ球が隊員3として登場。自然免疫で取り除けない病原体に感染した細胞を攻撃する。 (獲得免疫あるいは適応免疫;隊員の20%がこれ)

それ以後、人間のからだはこの小さな病原体を「やっつける対象」として認識します。 それからというもの、体内で見つけ次第攻撃をするため、病原体がからだに入っても重症化し ないようになるのです。その「守る」はたらきを助けるのがワクチンです。



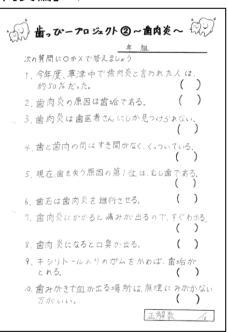
生徒会保健委員会「歯っぴープロジェクト② 歯肉炎編」 2/22



ついて全校へ働きかけました。







生徒会による予餞会(2/26)

巣立ちゆく三年生に、在校生からの心を込めた別れのセレモニーでした。 感染症対策のため、例年通りの実施はできませんでしたが、送る側、送られる側の双方に残る予餞会でした。